

JRC 2020 Web 開催参加報告

札幌医科大学附属病院 平野 透

新型コロナウイルス感染症拡大のため3月以降の学会更に各種イベントが延期、中止になっている状況でJRC2020も3月早々に横浜での開催が中止になり、Web開催に変更になったことは多くのユーザー会の会員の皆様にご存知かと思えます。JRCがWeb配信で学会を開催したのは初めてですが、参加してみると意外にWeb開催も有意義でありました。私が今回のWeb開催で良いと思ったことを幾つか挙げさせて頂き、参加報告にさせて頂きたいと思えます。

- ① 開催が5月23日から6月15日までの期間で視聴できるので、仕事を休むこともなく、好きな時間で興味のある演題セッションやセミナーを見る事が出来ました。普段は一般演題を聴講しても発表時間内ではなかなか内容を把握する事が難しい事が良くあるのですが、Web配信では閲覧時間に制限もないのでじっくりとスライドを見る事ができ、普段よりは内容を十分に把握する事が出来たと思っています。また演者に対しWeb上で質問することも可能で、普段であれば演者に質問することは結構躊躇するところですが、Webだと多少気楽に質問できているのかな？と思えました。演者も真摯に返答頂ける方も多く、もしかしたら普段よりディスカッションが出来ていたのではないかと思えました。
- ② Web開催なので様々ランチョンセミナーを閲覧する事が出来ました。通常の学会であればランチョンセミナーも曜日毎に1つしか参加出来ないのですが、今回の開催では同一曜日のランチョンセミナーを複数視聴する事が出来ました。またランチョンで良くあるのがお弁当食べてだんだん眠くなって、セミナー聞いてなかった、、、という失態をしてしまう事があったのですが何度も視聴出来たのでそういう失敗はなしです。キヤノンのランチョンセミナー(CT)は2度ほど視聴させて頂きました(慶應大学の立位CT

は大変興味深い画像でした)。また医学放射線学会のプログラムに関しても普段では日本放射線技術学会のプログラムと重なり時間的に参加が難しいセッションに関しても視聴できたのは今回の企画によるものの恩恵かと思いました。

今回の Web 開催は今後の学会運営の新たな方法かとも思いました。横浜に行くのも普段仕事している私達にとっては職場との勤務調整、更に旅費・宿泊費などの持ち出しなど様々な制限もありますが、この Web 開催では多くの参加者が参加できる(参加費も 5000 円と割安でした)環境であったと思っています。先に書きましたが案外楽しく参加する事が出来ました。来年は新型コロナウイルス感染症が終息していたら、通常で開催になると思いますが今回の Web 開催で養われた技術を来年も使って貰えたらと思っています。

でも、、、ITEM はやっぱり横浜行かないと、、、